

『教育デザイン研究』第13巻

No. I

論文

- 日本語教育の教材作成の手順 —文末イントネーションの教材を例として—
河野 俊之 1
- タイの教員及び学生を対象とした着物文化の発信のための浴衣着装ワークショップ
大矢 幸江・薩本 弥生・深海 康子・扇澤 美千子・齊藤 秀子 11
- 小学校第6学年「てこの規則性」の単元における一般化仮説の形成過程に関する研究
柳沼 優作・和田 一郎 21
- 中学生における夜更かしの要因と指導方法に関する質的検討
五十嵐 未来・堀井 俊章 31
- 多様性を活かした協調学習による状況モデルの構築
—知能のPASS理論と知識構成型ジグソー法を適用した高等学校国語科「読むこと」の授業実践—
小澤 広大 41
- クイズ番組を介した異文化理解の可能性 —1980年代の海外情報型クイズ番組の分析から—
李 縁舟・石田 喜美 51
- 中学校理科の課題設定場面における生徒の探究を見通す思考と学習を振り返る思考の実態について
三宅 一彦・加藤 圭司 61
- 小学校における行動問題のある児童の担任に対する行動コンサルテーション支援
—校内の人的資源を活用した行動コンサルテーションの有効性に関する検討—
芳賀 誠・泉 真由子 69
- 知的障害のある小学部児童への国語「伝統的な言語文化」の授業に関する実践研究
—「おむすびころりん」の七五調のリズム、繰り返し登場するフレーズの響きに注目して—
宮野 雄太 79
- ディベートと事前事後ライティングの融合授業における大学新入生の学び
—コミュニケーション力・論理的思考力・リテラシーの育成—
橋本 ゆかり 89
- 資質・能力を育成する学習評価の状況の一考察 —学習評価に対する教員の自己評価から—
田中 保樹・越智 拓也・松原 雅俊 99

<u>中国の小中高の情報教育におけるカリキュラム体系の歴史と現状に関する一考察</u> <u>—新旧カリキュラム体系の比較を通して—</u>	胡 啓慧・野中 陽一	109
<u>ロープ・モデルを視点としたセルフ・コンセプトの内実に係る事例的研究</u>	長沼 武志・森本 信也	118
<u>神奈川県内自治体との連携による非常勤講師等研修の実践と評価(事例研究)</u>	松原 雅俊・藤原 寿幸・長沼 武志・名執 宗彦	124
<u>小学生の Grit(やり抜く力)と学級集団内の教育的相互作用との関連</u>	藤原 寿幸	135
<u>学年目標を基盤とした学年力向上プロジェクトの実践</u> <u>—「学級力向上プロジェクト」を参考にして—</u>	藤原 寿幸・小松 陽子・川村 容平	140
<u>小中学校教員の採用3年目までの効力感と困難の変化と支援の在り方</u> <u>～横浜市立小中学校を対象とした縦断調査～</u>	柳澤 尚利・脇本 健弘・木村 充	150
<u>ミドル期の教師を対象とした教職キャリア講座の開発と評価</u>	脇本 健弘・柳澤 尚利	160
<u>サービス・ラーニングコーディネーターによる教育参画の意義についての研究</u>	馬場 洸志・倉本 哲男	170
<u>1人1台端末環境下における小学生の初期段階のキーボード入力スキルに関する実態調査</u>	石橋 純一郎・草柳 讓治・野中 陽一	179
<u>中国における塾型「双師授業」の特徴 —中国 K 塾の実践事例を中心に—</u>	田 曉燕・野中 陽一	186

No. II

資料

高齢者教育に関する一考察 ―東京都特別区における行政が設置する「大学」に着目して
福井 弘教 1

中学校技術・家庭（家庭分野）で資質・能力を育成するためのカリキュラム・マネジメントと学習評価
の充実を図る取組
海野 功子 8

問題作成課題を用いた学習意欲を高めるための指導法 ―数列の単元に着目して―
鈴木 孝弥・茨木 貴徳 18

「主体的で対話的な深い学び」を目指すAIロボット『LOVOT』を活用した学校経営―
谷口 なおみ・胡 啓慧 28

総合的な学習の時間における新たな教育実践 ～ヒップホップ型教育～
馬場 洸志・長坂 祐哉・倉本 哲男 35

調査・報告

2020年度学校教育課程在籍者・2021年度学校教員養成課程入学生への進路意識調査結果の報告
尾島 司郎・軍司 敦子 44

特別支援学級におけるICTの活用
―特別支援教育の授業実践におけるアプリの有効活用を目指して―
和田 幸江 55

令和2年度教育実践専攻（修士課程）における修学に関するアンケート結果報告
新谷 康浩・渡辺 雅仁 59

横浜国立大学教育学部の学校インターンシップ科目「スクールデー実践A・B・C」における2020年
度学生の事後調査結果の報告
杉山 久仁子 65

No. III

教育デザインフォーラム学生発表会

佐野 真知子： <u>公立高校におけるクリエイティブワークショップの実践</u> —総合的な探究の時間におけるテーマ設定の手がかりとして—	1
青島 拓紀： <u>中学生の自律性支援の認知と学習動機づけとの関連</u>	3
五十嵐 未来： <u>中学生における夜更かしの要因と指導方法に関する質的研究</u>	5
彭 璽閣： <u>中国人学習者の日本語アスペクトに関する習得プロセスと要因の一考察</u> —「結果の存続」を表す「テイル」「テアル」を中心に—	7
鈴木 麻由： <u>接触場面における共話方略使用の有効性</u> —日本語でのオンライン交流会話の分析から—	9
原 敏： <u>ロール・プレイングを活用した文学教育の実践</u> —魯迅『故郷』における登場人物同士の関係に着目して—	11
五十嵐 陽： <u>Seem 構文と証拠性—日英比較の観点から—</u>	13
濱本 早百合： <u>学習者・指導者のビリーフの比較から見た望ましい英文法指導</u>	15
三原 功士郎・内田 成昭・鈴木 晴子・陳 乙萱・陳 璐・長澤 慎哉： <u>教科内容研究としての教科書分析</u>	17
田中 匠： <u>「気になる」児童の変容を促す算数科授業に関する事例研究</u> —多様な考えを伝え合う活動に焦点を当てて—	19
佐野 綾音： <u>理科における科学的思考の促進の意味</u> —理科の学習過程における表象モード間の接続と変換の実態—	21
岡本 海里： <u>理科授業における実験計画立案時の思考の実態に関わる分析的検討</u> —中学生に対する聞き取り調査の質的分析から—	23
鳥海 壮矢： <u>先進化する工具材に対応する被割性の在り方の検討と簡易試験を通してのその検証</u>	25
大野 弥子： <u>フィンランドの音楽科教員養成の特徴とその背景</u> —オウル大学教育学部音楽教育コースカリキュラムの内容分析を中心に—	27
名田 昌美： <u>初等音楽科における身体表現活動に関する一考察</u> —ドイツ・バイエルン州音楽教授プラン「Bewegung - Tanz - Szene」を手がかりに—	29
松尾 美佐希： <u>学生街に立地する店舗での学生作品の展示販売活動プロジェクト</u> —創作者と教育者の両立を目指す学生への支援と美術に親しみのある地域をめざして—	31
長谷川 聡： <u>カリキュラム・マネジメントに生きる美術教育の力</u> —教科等横断的な視点に立った美術教育実践から見えてくること—	33
朱 健陽： <u>暑熱環境下における間欠的運動および定常運動時の予測深部体温の検証</u> —熱中症予防のため—	35
野下 卓泰： <u>少年野球における選手の動機づけ—選手が認知する指導者との関係に着目—</u>	37
王 佳明： <u>放課後学習支援室におけるディスレクシア児への学習支援の進め方について</u> —インターン活動を通じて学んだこと—	39
神取 幸実： <u>大学生の目標と充実感に関する研究</u>	41
鈴木 香瑠： <u>COVID-19 蔓延下における大学生の行動と背景要因の検討</u>	43

教職大学院 学校課題解決研究報告書

青木 直子： <u>特別支援学校におけるチームで行う授業づくり</u> <u>～連携する教員集団づくりを通して～</u>	45
赤根 弘美： <u>中学校教職員の同僚性向上を目指すために</u> <u>～ミドルアップダウンと若手教員のボトムアップ～</u>	46
池田 真紀： <u>教師と生徒の相互作用の分析を活かした授業改善</u> <u>～聞いてつなげて考える授業デザインの提案～</u>	47
奥原 佑典： <u>カリキュラム・マネジメントの考え方に基づいたカリキュラムの作成を実現する校内研修の</u> <u>開発～中学校における生徒会活動の改善を通して～</u>	48
齋 孝徳： <u>高等学校数学科における学習意欲向上を目指した授業実践</u> <u>～生徒が生徒に教える異学年学習の視点から～</u>	49
坂口 絢子： <u>特別支援学校における授業改善の試み</u> <u>～高等部で育てたい力を意識した美術の授業づくり～</u>	50
佐藤 拓也： <u>「社会に開かれた教育課程」の理解を深めるための諸方策</u> <u>～メンターチームによる研修実施方法の有効性の検証～</u>	51
佐藤 拓也： <u>生徒の「自己効力感」が高まることを期待した授業実践</u> <u>～振り返りに着目して～</u>	52
杉原 伸一： <u>ミドルのシェアド・リーダーシップ開発研修のデザイン</u>	53
永島 敏充： <u>教員同士の学び合いによる授業の共同開発</u> <u>～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善～</u>	54
福岡 三佐子： <u>「まち」とともにある学校実現に向けたカリキュラム・マネジメントの充実</u> <u>～「まち」を生かした教育課程を「創り」「動かし」「変えていく」教員集団づくりに向けた研修の取組～</u>	55
室木 宏司： <u>コロナ禍における ICT 研修の展開</u>	56
山下 幸代： <u>児童の自己有用感を高める教師の肯定的な声かけ・価値づけの在り方</u>	57
畠山 瑞樹： <u>数学的な見方・考え方を育成する振り返り指導の一考察</u>	58
山崎 翔： <u>積極的生徒指導の充実をめざした探究的实践</u> <u>～放課後学習支援と校内支援検討会の実践をもとに～</u>	59
大橋 司： <u>高校国語科における協働学習の活性化に向けた授業検討</u> <u>～生徒のグループワークに対する「必要感」に着目して～</u>	60
勝間田 優： <u>「思考力、判断力、表現力等」育成を目指した小学校体育のボール運動の実践</u> <u>～場とカードの工夫を活かして～</u>	61